



We are Appreciators.

---

Recruiting Book

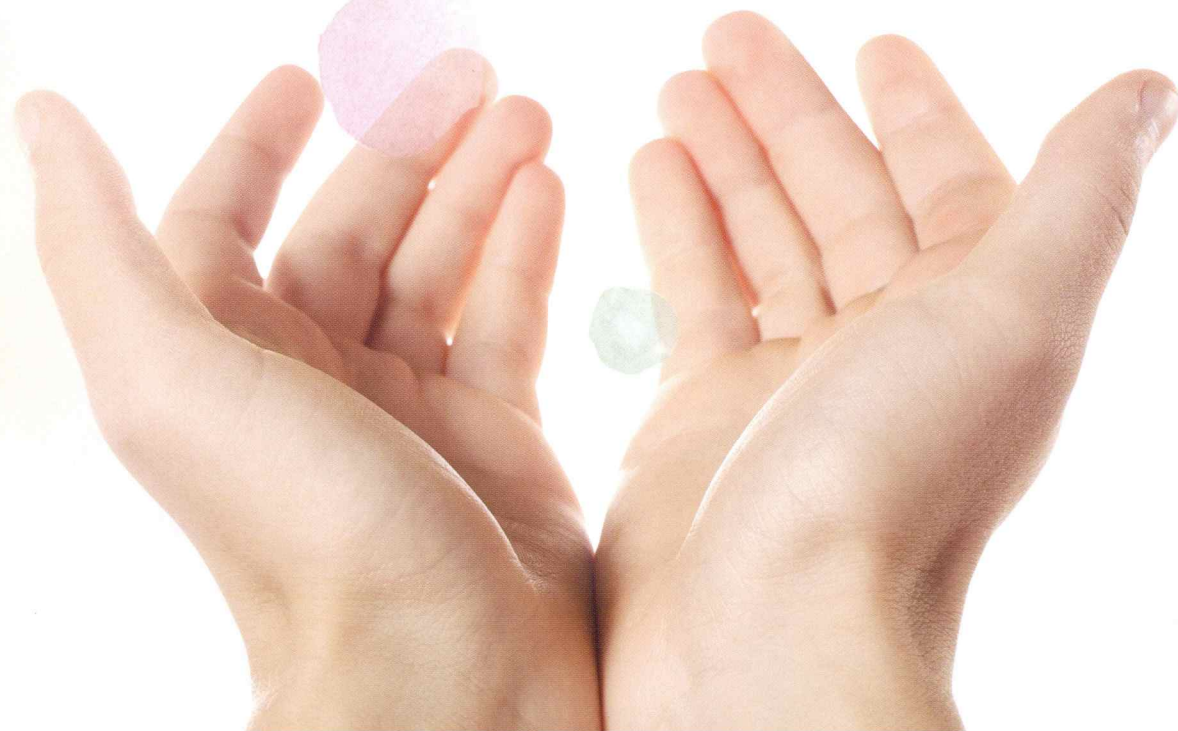
CSC Service Co.,Ltd.





We are Appreciators.

価値を見出す者



誰かに感謝される時、  
自分に価値を感じることが  
できるのではないだろうか。

誰かのために、何ができるか。  
今まで一度でも、そう考えたことのある  
あなたなら、もう誰かを救えていることに  
気づいてほしいと思います。  
あなたが相手を思いやり、  
勇気を振りしぼって伝えたいことや、  
笑顔、ふるまいが、必ず誰かの  
心を照らしているはずですよ。

だから、自分から

「ありがとう」の五文字を伝えよう。  
毎日をうんと、生きよう。

そんな想いをわかちあえる仲間がここにいます。



## CSCサービスとは

私たちは「湯灌の儀」をビジネス化させた業界のバイオニア企業として、その使命感や誇りを持って日々業務にあたっています。品質マネジメントシステムの確立、サービスの品質保持を目的に、早い段階で『ISO9001』の認証を取得したのもそのためです。もちろん、今尚継続的に品質マネジメントシステムの改善に努めており、業界のグローバルスタンダードを誇示できるサービスを実施しています。現状を良しとせず、あらゆる創意工夫を凝らしながら改善・改革を図り、これからも社会から必要とされる会社、サービス、人づくりを行ってまいります。



## 湯灌（てごころ）

思いやり、触れ合い、そしてつながる温もりを。

ご遺族様の心に触れ、深い悲しみを受け入れて、「ありがとう」の感謝の気持ちに変えていただくことが、私達にできることだと思います。悲しみから立ち直るのではなく、悲しみを受け入れ、「湯灌をしてあげられた」、「お葬式をしてあげられた」と、そのひと時、ひと時に感謝の気持ちを重ねていき、故人様と過ごした日々を輝きを心に残していただきたいと考えています。



ご訪問

規定の研修を受けた湯灌専門のスタッフが  
お伺いいたします。



ご説明

ご家族、ご親族の方々と心をひとつにするため湯灌の儀についてのご説明をさせていただきます。



逆さ水の儀式

ご家族、ご親族の方々に順番に足元から胸元までお清めの水をかけて頂きます。



ご納棺の儀式へ

全身を洗い終えた後は旅支度を始めます。お着替えとお化粧をさせていただきます。湯灌の儀式が終了します。



身支度



お顔拭き

御身体を拭き、髪を乾かした後、最後にご家族、ご親族の方々に故人様のお顔を拭いて頂きます。



ご洗体

逆さの作法にしたがって足元から胸元にかけて、真心をこめ御身体を洗うと同時に、洗髪、洗顔を行います。

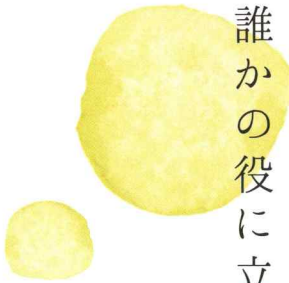
## 私の手で、丁寧に、しっかりと。

故人様に触れるとき、その肌は生身の人間のやわらかさを残しているもの、とても冷たくなっていきます。儀式中は手で触れながら、故人様の想いがご遺族様に伝わるようにいつも願っています。

入社して十数年経ち、数多くの故人様やそのご遺族様とお会いしてきました。ご遺族様の感情表現はそれぞれ。悲しくても無理して笑顔をつくられる方もあれば、こみあげる想いに耐え切れず、声をあげて涙を流される方もいらっしゃいます。そんな姿を見るたびに、人の感情とはとても複雑で、繊細なものだと感じさせられます。

儀式では、心を軽くする言葉をかけてあげることも大切ですが、私は「故人様に触れること」に重点を置いていきます。実は私は人より手が大きいことをコンプレックスに感じていました。小さくて華奢な手のほうが、湯灌の所作が美しく見えるとも思っていました。しかし、そんな私が自分の手を好きになれるきっかけがありました。あるスタッフに「手が大きいからこそ、故人様のお体をしっかりと支えてあげ

一人ひとりはきつと、  
誰かの役に立つために存在する。



られるじゃない。」と褒められたのです。私はハッとしました。自分がネガティブに感じていることも、他人からすると魅力的にうつることもあるのかと思いました。それからというもの、「もつと私にできることはないか」と仕事に対する考え方にも良い変化がありました。そして今、こんなふうに関わること以上に、誰かのことを考えてくれる人がいるこの場所を誇りに思っています。きっとみんな、人に対して大真面目なんだと思います。



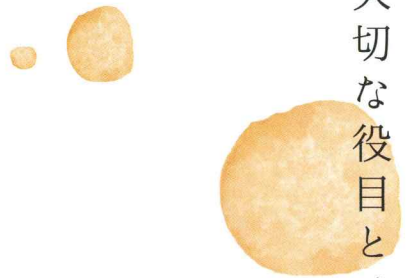
Hisanori Kaiho  
久富 慶子  
H18年度入社  
係長  
明石営業所

## 命を、つぎの場所へ。

長い入院生活しておられた故人様を担当した時のことです。生前は容態が悪く、ゆっくりとお風呂に入れなかったとご遺族様から伺いました。それを聞いた私は湯灌をしながら、「大変でしたね。」ゆっくり浸かってくださいね。」と心の中で故人様に話しかけていました。冷たかった体がじんわりと温まってくるのを感じました。するとご遺族様が「とても気持ち良さそうにしている。」と笑顔が浮かべられました。故人様の顔をあらためて見てみると、私もなんだかそんなふうにご遺族様に嬉しかったのを覚えていました。

「死んだらどうなるのだろう。」子どもの頃、こんなことを考えていました。自分が勝手につくりあげた、死後の世界に想像は膨らみ、大人に尋ねて困らせたり、怖くて眠れなくなったり。すべての動物の中で、人間だけがいつか来る死を理解しているそうです。だから、死について考えるのはとても自然なこと。私がここに入社を決めたのも、自分の興味、本当にやりたいことを突き詰めて考えた結果で

湯灌がもたらす大切な役目とは。



す。はじめはご遺族様とどんな話をすれば良いのかわからず、不安でした。考えれば考えるほど、言葉に詰まってしまうことも。経験を重ね、私が導き出したのは、心をこめて湯灌を行うというシンプルなこと。

死んだらどうなるのか。私は、命は続いていくものだと思うています。湯灌は故人様の旅立ちの準備。そして、故人様とご遺族様との最後の時間をご提供し、ご遺族様にも故人様を送り出す、心の整理をしていただくものだと思います。



Ibara Takayuki  
伊原 貴幸  
H27年度入社  
神戸営業所



「妻の死は、終わりじゃない。」

故人様はご高齢の女性でした。立会いには故人様と同じ年ぐらいの男性が一人。その方はどうやら旦那様。その表情は憔悴しきっているかのように見えました。

故人様と旦那様、私たち湯灌スタッフが2名、凍りつくような静けさの中、儀式は粛々と進められました。旦那様は故人様との思い出を振り返っておられるのか、ただ呆然とされていました。しかし、故人様に死に化粧が施され、新しい服を身にまとわれる頃、旦那様の表情に少し変化があったのです。

儀式の後、旦那様が私たちのもとへやってきました。そしてこう言いました。「妻がいなくなっと思って悲しくて、これからどうしようかと思っていた。けど、ずっと儀式を見ていたら、妻がまだ生きているような気がしてきたんだよ。するとさ、死は終わりじゃない、また妻に会えると思えてきて、少し希望が持てた。君たちの仕事はすばらしい。礼を言うよ。」

私は幼い頃、大切な人の死を経験しました。今でもその人のことを思うと、堪えきれず涙があふれ



Chikamori Yuka  
近森 裕加  
H25年度入社  
神戸営業所

もっと、故人様やご遺族様のために。

あるときご遺族様から、「故人様の髪の毛を切ってほしい。」とお願いされました。入院生活が長く、なかなか髪を切ることができなかつたそうです。長くなつた髪を、うっとおしそうにかきあげていたその方は、来週に控えた散髪を楽しみにしておられたようでした。しかし、髪を切るというささやかな夢も叶えられないことなく、死は突然やってきたのです。私たちに故人様の髪を切ることは許されていません。丁寧に事情をご説明すると、ご遺族様は快く承諾してくださいました。でも、やってあげたかった。とても悔しかった。何もできない自分に憤りを感じました。この仕事は、故人様をきれいにするだけが仕事ではないと思っっています。人間の生き死にに関わることだから、梓に当てはめることなく、もっと故人様やご遺族様のためになりたいと思っんです。

私は、好き嫌いがはっきりしている人間です。就職活動では、「できるかどうか」よりも、後悔せずに、自分がやってみたいと思えることを大切にしていました。そし



Murakawa Tomohiro  
村川 智洋  
H27年度入社  
神戸営業所

一生続けたいことって、なんだろう。

## 目の前の相手を幸せにするために。

「こんなにきれいにしてくれて、  
ありがとう。」

事務所に依頼の連絡が入りました。聞くと故人様はその日、不慮の事故で亡くなられた方。ご遺体には事故の影響で、ひどい損傷があるとのことでした。お顔を拝見すると、変色も進んでいました。事故の凄まじさが見るだけで伝わってきて辛い、それが正直な気持ちでした。ふと目をやると、悲しみに暮れるご遺族様の姿が目に入りました。事態を飲み込めない様子で、どなたかの嗚咽混じりのうなるような泣き声も聞こえてきました。私はそこで深呼吸をしました。そして、「ご遺族様のために私がやらなければ」「必ず故人様をきれいに差し上げよう」、そう決意したのです。

あらゆるところに事故の形跡があったので、いつも以上にやさしく丁寧に行いました。そして死に化粧を施し、無事に納棺。お棺の中の故人様は、はじめのお顔からは想像できないほど、穏やかな表情を浮かべられているようで、少しほっとしました。納棺後、ご遺族様が「こんなことをおっしゃいました。」「正直、苦しそうで見ている



Yamamoto Nobuko  
山本 伸子  
H23年度入社  
主任  
福岡営業所

## 遠い地で巡り合えた出会い。

多摩川営業所に配属になり、1年目のこと。東京の葬儀会館での儀式中、ご遺族様同士の会話を耳に挟みました。「遠いから大変だったでしょう？間に合って良かったわ。」東京は地方からたくさんの方が集まる場所。遠くから来られるご遺族様は珍しいことでもないのです。はじめは特に気に留めませんでした。しかし次の会話で、「雪、大丈夫だった？」と、私にとって気になるキーワードが耳をかすめました。実は、私の地元は雪が盛んな北海道・釧路市。もしかと思いました。そこで、どちらから来られたのかお伺いしてみたいです。すると、なんと同じ釧路出身。さらに、故人様も釧路出身だったのです。すごく驚きました。見えないものでつながっている、そんな特別なご縁さえ感じました。ご遺族様は私以上に驚かれています。ご様子で、その目には涙が浮かんでいました。故人様は故郷を離れ、ずっと東京で働いていたそうです。もうずいぶん会えずにいて、東京で亡くなったと聞いて、急いで駆けつけてきたと教

目に見えないもの。

えてくださいました。「最後に同郷の人にきれいにしてもらえてよかったです。」ご遺族様はそう言ってくれました。私は言葉にできない想いがあふれて、ただただ胸が熱くなったのを覚えています。この仕事は、人に説明するのは難しい、特殊な仕事だと思えます。私は湯灌を通して、何か大切なことを教わっている気がします。ご遺族様が私の手をとって、涙を流しながら感謝してくださるとき、それを強く感じています。



Matsumura Saori  
松村 沙織  
H23年度入社  
主任  
多摩川営業所





Yamamoto Nobuko

山本 伸子

対談

Matsumura Saori

松村 沙織

私たちが目指すもの

「湯灌」を通して学んだこと。

松村 はじめて湯灌を見たときどうだった？

山本 CSCサービスの就職説明会で、湯灌の紹介ビデオを見たのがはじめ。一番の感想は、とにかく所作がきれいだったよ。

松村 私も！もともと日本にある文化だからか、指の先まで神経が行き届いた動きがすごく繊細で、きれいだなって釘付けになった。

山本 そうそう。機敏に流れるような動きなんだけど、故人様のお体に触れるときはすごく優しく触れて。それまで湯灌のことはあまり知らなかったけど、こんなに丁寧にしてもらえるなら、自分が亡くなったときにもしてもらいたいと思った。

松村 でも初めは、私にもちゃんどできるのかな？って不安だったな。すごく神経を使う仕事だから、入社したての頃は家

に帰ると毎日のように、泥のように眠ってた。

山本 仕事は何でもそうだけど、慣れるまでが大変だね。でもこの仕事の場合、慣れるって感覚はあまりないのかも。故人様は亡くなられているんだけど、はじめてお会いするとき

は、生きている方々と何も変わらず、「はじめまして」っていう気持ちで接してる。

松村 みなさんそれぞれの人生を生きてこられて、いろんな背景をお持ちになられていると思う。私たちの仕事は、ご遺族様が故人様との思い出を振り返りながら、最後の時間を過ごしていただくお手伝いをする。この仕事を通して、死がすごく身近に感じられて、「自分はどう生きるのか」ってことを考えるようになったのかも。

松村 そうだね。当たり前のことだけど、人に感謝したり、一日一日を大切に過ごそうって思えるようになった。

湯灌の仕事に必要なこととは。

山本 お互い主任になったけど、松村さんは後輩指導ではどんなことに気をつけてるの？

松村 後輩とはメリハリをつけて一定の距離感を保つことかな。コミュニケーションは積極的に取るように心がけてるけど、友達感覚にならないように気をつけてる。仲良くなりすぎると、仕事の指導や注意したいことをあいまいにしがちになるから。そうなるときと相手も成長できなくなってしまう。山本 そうだね。馴れ合いになると儀式での気の緩みに繋がることもあると思う。儀式の90分間は、良い緊張感を持つことが大切だね。私は、教えることを諦めないことかな。あまり人に教えるのって得意じゃないんだけど、不器用でも自分の想いを一生懸命伝えることかな。想いが先走るとなかなか言葉が出てこなくて「うまく伝わっているかな？」と心配になってしまうこともある。だけど私の

熱意が伝われば、教えられる側もきっと応えてくれると信じて、諦めずに伝えようと思う。

松村 素敵だね。湯灌の儀式でも、そんなふうを感じることもある。器用にそつなくこなすよりも、一生懸命な姿に感謝の言葉をいただけることが多い。

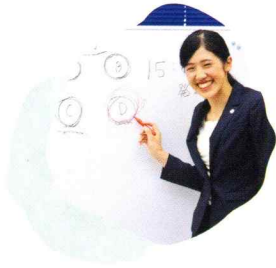
山本 そうだね。誰かのために何かしたい！というひたむきな想いを持った人にこの仕事は向いてるのかもしれないね。

松村 あと社交的な人も。一人の殻に閉じこもらず、疑問や不安をぶつけてきてくれる人って一緒に働いても気持ち良い。すごく向上心があるんだなと思う。

山本 儀式はペアで行うものだし、お互いが何を考えているのかわからないと不安になるよね。遠慮しないで、どんどんお互いを知ることが大切だね。

一日一日を大切に過ごそうって思えるようになった。

想いを一生懸命伝えることかな。想いが先走るとなかなか言葉が出てこなくて「うまく伝わっているかな？」と心配になってしまうこともある。だけど私の



CSCサービスが目指すもの。

山本 CSCサービスが大切にしていることの中に「appreciate」という言葉があるよね。

松村 「appreciate」真の価値を認め、感謝することってことだったよね。

山本 そうそう。一人ひとりを尊重することの大切さを、会社は体現してらんだと思うな。

松村 実は最近、学生時代にやってたグラフィックのスキルを使って、商談資料などを作るようになったんだ。自分がやっていくことが、思わぬところで会社の役に立って嬉しくって。勉強してて良かったなと思った。ほかにも私たちが知らないだけで、おもしろい趣味や

特技を持った人ってたくさんいるんだらうね！

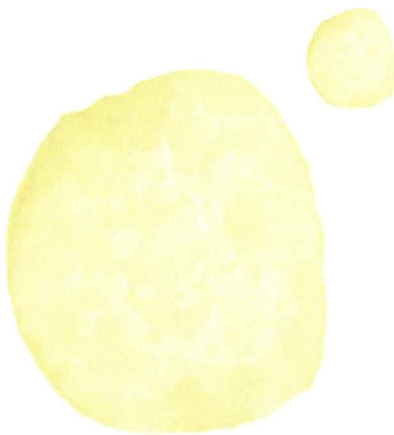
山本 そうだね。一人ひとり集めれば、いろんなことができちゃいそう。

松村 これからもっと会社ごとにも目向けて、さまざまな角度から人に感謝されるサービスを提供したいな。一人じゃできないことも、みんながいればできる気がする。

山本 私もいろんなことに興味を持って、新しいことにもどんどん挑戦していきたい。







ありがとう。  
 あなたがいて、  
 本当に良かった。

### 代表挨拶

「心を癒す」「想いを伝える場を提供する」  
 という使命とともに私達は、  
 目に見えないものをサービスとしています。

「心を癒す」「想いを伝える場を提供する」  
 という使命とともに、

時代の流れにあわせてサービスのカタチを  
 変えていこうと常に新しいことを取り入れています。  
 まだまだ、湯灌の儀が浸透していない地域もあるなかで、  
 私達が提供させていただいているサービスを、  
 たくさんの人に知ってもらいたい。  
 そのため、人の心を動かすサービスを  
 提供し続けていくことが私達の使命です。

代表取締役 藤井達哉

商号	株式会社 シーエスシーサービス CSC Service Co.,Ltd.				
本社	〒537-0011 大阪市東成区東今里3丁目1番10号 TEL:06-4259-8799 / FAX:06-4259-8798				
事業内容	湯灌・納棺施行サービス / エンバーミング / 葬祭関連商品の販売 / 寝台車事業 / その他				
創業	昭和62年(1987年)4月	設立	平成元年(1989年)8月		
資本金	1,000万円	従業員数	約200名	代表者	藤井達哉
取引銀行	りそな銀行 / 三井住友銀行 / 三菱東京UFJ銀行				
主要取引先	全国各地の葬儀社				
取得認証	ISO9001認証取得(大阪本社)				
関連会社	入浴サービス株式会社				
事業所	北海道 / 宮城県 / 東京都 / 石川県 / 福井県 / 長野県 / 静岡県 / 大阪府 / 兵庫県 / 奈良県 / 鳥取県 / 岡山県 / 広島県 / 山口県 / 徳島県 / 香川県 / 愛媛県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 長崎県 / 熊本県 / 宮崎県 / 鹿児島県 (※関連会社含む)				



株式会社 **CSCサービス**

〒537-0011 大阪市東成区東今里3丁目1番10号

TEL : 06-4259-8799 / FAX : 06-4259-8798

リクルート専用メールアドレス : [recruit@mail.srvc.jp](mailto:recruit@mail.srvc.jp)

---

<http://csc.service.co.jp>